令和2年度行政評価 施策評価シート (令和元年度実績) 施策名 疾病の予防・早期発見の推進

			施策コード	5040402
1. 施策の担当				
主管課	健康福祉部	健康推進課		
関係課	国保年金課			

2. 総合計画における位置づけ								
総合計画	政策	第4章 すこやかで、ひとがつながり支 え合うまちづくり(支え合い・福祉・健 康)	節	第4節	健康・医療			
	施策	疾病の予防・早期発見の推進						

基本方針

- ・疾病を未然に予防することの重要性について啓発するとともに、健康診査やがん検診の周知を図り、受診率を向上させ疾病の予防 と早期発見に努めます。
- ・外来有害生物及び感染症について、迅速な情報提供を行い、知識の普及と注意喚起を図ります。また、感染症対策は、「感染症等 健康危機管理対応指針」に基づき適切に実施します。

現況と課題

- ・健康診査、がん検診の受診率や高齢者インフルエンザ予防接種の接種率の向上に取り組んでいますが、更に受診率を向上させることが必要です。
- ・市民一人ひとりが生活習慣病予防の必要性を認識し、健康診査やがん検診を受診する行動につなげることが必要です。
- ・外来有害生物の侵入や新たな感染症を含め、感染症等への対策を充実する必要があります。

施策日標

対象(誰を、何を、どこを)

市民

意図 (どのような状態にしたいのか)

健康寿命をのばし、生活の質の向上を図る。誰もが安心して充実した毎日を送ることがきるように、保健・医療・福祉施策の充実を 図る。

3. 市民ニーズ							
	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
満足度(偏差値)	58. 0						
重要度 (偏差値)	61.3						

4.	4. 施策にかかるコスト									
		単位	H30決算	R元決算						
コス	人件費		18, 547	14, 455						
トの	事業費	千円	94, 045	99, 420						
内訳	J訳 フルコスト		112, 592	113, 875						
	国庫支出金		1, 034	1, 135						
	府支出金		27, 572	25, 590						
D.1.10E	市債		0	0						
財源内訳	その他	千円	255	222						
Pinc	一般財源1(=フルコスト一特定財源)		83, 731	86, 928						
	一般財源2(=直接 事業費一特定財源)		65, 184	72, 473						

5.	施策の重要業績成果指標(KPI)										
① KPI	[1 特]	1 特定健康診査の受診率 (国民健康保険被保険者)									
項目	H29実績	H30実績	R元実績	R2計i	画	R3計画	R4計画	R5計画			
目標値	33. 7	35. 0	40.0		45. 0	50. 0	55. 0	60. 0			
実績値		32. 6	32. 7								
達成度	100.0	93. 14	81. 75								
KPI設定	定の根拠	KPI目标	票数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景						
	診率の増加により					市民の意志に左右されるものであるが、勧奨を強化して受診					
慣病の	早期発見・疾病の	予防の推 定健康	:診査等実施計画(H30∼	率の向	上に努めており、	例年同程度の受診	率で大きな差がな			
進につ	ながる。	H35) 」	H35)」の目標数値。最終目標は国			│ 					
		が掲げ	る目標受診率であ	る60%と	を講じ	る必要がある。					
		した。	尚、実績値は評価	対象年度							
		の前年	度の確定値を用い	ている。							

NPI 2	か	「ん検診の受	診率(胃	・大腸・乳	し・子宮・肺	がん検討	多の受	診率の平均)		
項目	H29実績	H30実		R元実約		R2計画		R3計画	R4計画	R5計画
目標値	8.	8	11. 0	13. 2			17. 6	22. 2	26. 7	31.
	8.		9. 0		9. 5					
虚成度	100.	0	81.82		71. 97					
PI設定σ				数値の設定				成・未達成の理由・		
D早期発 Dながる		方の推進に	終目標値	直とした。	診率50%を		推移し	意志に左右されるも している。大阪府の		
3) KPI3		齢者インフ								
項目	H29実績	H30実		R元実約		R2計画		R3計画	R4計画	R5計画
標値	48.		50. 5		52. 1		53. 6	55. 2	56. 7	58
€績値 * * * *	48.		51.1		53. 6					
を成度	100.	0	101. 19		02. 88		1年7年 -	<u> </u>	#. F	
PI設定O	O根拠 増加により、i	+ A /4 - =		数値の設定	基に、年間			<mark>成・未達成の理由・</mark> 意志に左右されるも		*/+!!.#\
70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0	H29実績 H30実績	KP R元実績 R2計画		計画 R5計画	■目標値□実績値	35.0 30.0 25.0 20.0 15.0 10.0 5.0	H29実	K K K K K K K K K K K K K K K K K K K	PI②	 ■目標値 □実績値
60.0 58.0 56.0 54.0 52.0 50.0 48.0 44.0		KF	1(3)	計画 R5計画	■目標値 □実績値					

6. 施策の事後評価									
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等						
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺 市との比較なども含む)	* ****	検 (健) 診の受診率は全国的に見た場合に大阪府は低いレベルにあり、泉州地域はその中でも低い位置にある。						
	施策に対する市民ニーズ	(3点中)	健(検)診受診率は低いが、継続的な受診者は多い。今後においても、受診による疾病の早期発見の有効性を広く周知・啓発し、未受診者に対する対策を強化することで、受診率を上げていくことができる。						
一次評価 (担当課によ る評価)	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、 国・府の政策の動 向、社会潮流など)	(3点中)	国において、特定健診は、H29年度までに60%の受診率を目標として掲げられ重要視されているが、伸び悩んでいる。また、各がん検診についてもH21年度から国において乳がん・子宮がん検診について一定年齢の対象者への無料クーポン券による個別勧奨事業が展開されており、疾病の早期発見、早期治療や予防対策に重点を置いているものの国の目標値である50%に達するためには、受診率向上に向けて更なる工夫が必要である。						
	合計点	(10点中) 8点							
	総合評価	В	健診受診率の向上は長年の課題であり、健診の重要性を理解してもらうとともに、健康意識の向上を図る必要がある。健康増進に携わる行政機関や、地域の医療関係団体が一層連携を深め、効果的に、住民への健診受診を働きかけるとともに、受診しやすい環境を整備していかなければならない。						
二次評価(政策推進課・行財政管 理課による評価)		В	受診率の向上を工夫すること。						
三次評価(理事者による評価)		В	受診率の向上を工夫すること。						

7.	7. 施策を構成する事務事業									
		事務事業	R元年度決算額 DOC 英 N N				· <i>h</i> r =π /≖			
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源	R2年度予算	一次評価			
1	01027200	結核予防事業	1, 232	2, 982	2, 982	0	В			
2	01028000	健康増進健康診査事業	13, 223	71, 009	65, 957	0	В			
3	02050310	保健医療事業	0	25, 429	3, 534	0	В			
合計			14, 455	99, 420	72, 473	0				